No.131

こんにちは！教育委員です




★北海道日本ハムファイターズ応援企画★
「グラブを本に持ちかえて」
―読書と作文のまち今金町特別展―

北海道日本ハムファイターズの読書の魅力を伝える特別展「読んだ！打った！勝った！選手のお奨め本とともに」が札幌市中央図書館で８月 11 日から開催されました。ファイターズの選手たちが，推薦文を添えた愛読書を展示する企画です。



今金町特別展の様子

この企画展が，北海道日本ハムファイターズ・札幌市中央図書館・北海道教育委員会の協力により，９月 17 日 (水) から９月 28 日 (日) まで，今金町民センター２階研修室を会場に開催されています。日本ハムファイターズの読書応援企画が，札幌市以外の市町村で開催されるのは，「読書と作文のまち」を推進する今金町が第１号となります。

今金町の特別展では，選手が選んだ珠玉の１冊とコメント紹介の他にも盛りだくさんの展示プログラムが用意されています。「読書男子」の１コマをおさめた写真パネルや球団ポスターの展示・ファイターズの歩み・チームや選手の本の紹介・野球関連本展示などです。選手のお奨め本と野球関連本は，企画展終了後に今金町民センター図書室で貸し出されます。

また，先月からこの特別展の PR も兼ねて教育長室には教育長所蔵の野球関連図書の一部を事前展示しました。


PR 展示

先輩達が新成人へエール！
『ふるさと夢対談 ～私たちが築くいまかね～』

恒例の今金町真夏の成人祭が８月 13 日，今金町民センターで行われました。新成人対象者 62 名のうち 47 名が出席しました。



新成人代表の今健太さん，辻彩佳さんが「３つの LOVE(1. ふるさと今金町への郷土愛　2. 美しい国日本への愛　3. 世界平和) を大切にします。成人として先輩方の尊い人生経験を教訓として社会人としての自覚を持ち，一歩一歩確実に歩んでいきます。」と誓いの言葉をのべました。


（右から桃井さん，鷲野さん，池田さん）

式典終了後に開催された記念講演では，町内で働く 30 代の３人が中島教育長との対談を行いました。３人は，それぞれの立場からふるさとへの思いや仕事のやりがいなどを語り，後輩たちへエールを送りました。

対談の中で，新成人に「将来ふるさと今金で仕事をするチャンスがあれば戻ってきたいですか」との問いに多くの成人が手をあげました。ふるさとの存在は帰省の場だけではなく，働き，生活を送りたい場であることも再認識しました。

＊エールを送ってくれた３名の先輩達＊

専教寺 (住職) 池田誓哉さん
シュプールワシノ (美容師) 鷲野 将さん
桃井バレエ教室 (主宰) 桃井 香苗さん

ありがとうございました。

発　行：今金町教育委員の会
〒 049-4393　北海道瀬棚郡今金町字今金 48-1
TEL:0137-82-3488【No. 131】H26(2014).9.22
E-mail:mitsuhiro.nakajima@town.imakane.lg.jp

委員リレー寄稿「歳時記」



今月は，田中 稔 教育委員です。

更生保護と瀬棚地区保護司会視察研修（月形刑務所，小樽市保護司会）報告

9 月，大変良い季節です。過ごし易い気候は勿論，各地域の秋祭り，水稲や名産の馬鈴薯「今金だんしゃく」をはじめ各作物の収穫最盛期。各地で悲惨な豪雨災害等が報道される中，当地ここ数年大きな災害もなく豊作年が続き，自然の恵みに心から感謝しております。

表題大変硬い感じですが，8 月 25 ～ 26 日「瀬棚地区保護司会，更生保護女性会視察研修」に参加しました。一般にはなじみの薄い更生保護の事と視察の報告について述べたいと思います。青年期からお世話に成っている先輩から法に触れない強要的詐欺的推薦により，あまり解らず保護司の委嘱を受けて 6 年経ちました。

更生保護の目的は犯罪をした者や非行のある少年の再犯を防ぎ非行をなくし社会の一員として自立し改善更生を助ける事，恩赦の適切な運用を図る事，犯罪予防の活動の推進等を行う事です。国の機関としては**地方保護委員会**（在札幌），**保護観察所**（在函館）に保護観察官が配置されています。保護観察や犯罪予防等の更生保護諸活動は国の機関だけでは困難であり，民間団体民間ボランティアが様々な活動をして居ます。

保護司～法務省より委嘱され保護観察官と協働して保護観察に当たるほか，犯罪や非行した人が社会復帰する時スムーズに社会生活を営める様住居や就労先などの環境の調整や相談，犯罪予防の活動をします。全国に約 48,000 人，瀬棚地区に 33 人，内今金に 10 人。

更生保護法人，更生保護施設～矯正施設から釈放された人や保護観察中の人が直ちに自立更生困難な人に対し一定期間居住し，生活指導職業補導等を行い自立の支援をし，再犯，再非行の防止を図る施設，法人です。全国に 100 数ヶ所，近くは函館にあります。

更生保護女性会～地域社会の犯罪非行の未然防止の啓発活動や青少年の健全育成の活動，自立更生する人への協力等をします。全国に約 185,000 人，瀬棚地区に 80 人，内今金に 35 人の会員。

BBS 会（Big Brothers & Sisters）～様々な問題を抱える少年と兄や姉のように接し問題解決や健全成長を支援し犯罪や非行のない社会の実現を目指す団体。全国で約 4,700 人の会員。

協力雇用主～犯罪や非行前歴により就労困難な人を雇用し改善更生に協力する事業主，全国で約 9,300 の事業主数。不足している事が沢山ありますが更生保護に関してのおおまかな所です。

近代の更生保護制度は，今金町金原地区とも縁があり明治年間に静岡県の治山治水事業ほかで有名な金原明善らが，出獄人保護施設を設立し，県下に保護委員を委嘱したのが源流であり，これほど民間ボランティアが担う制度は世界に類がないと言われて居ります。保護司制度はずっと以前は何となく陰の様な存在の印象がありますが，平成 20 年の新たな更生保護法の施行後，犯罪や非行の予防活動等がきちんと整理されました。本年第 64 回を数え毎年 7 月を強調月間として実施している「社会を明るくする運動」等を通じて多くの方のご理解ご協力を頂きたいと思います。

日本は世界で一番安全な国と評価されていますが，調べてみました。国内の刑法犯件数は，2002 年約 369 万件と戦後最多，その後 11 年連続で減少し 2013 年約 132 万件でした。犯罪率が低く検挙率が高いので諸外国と比して確かに安全な国です。しかし日々報道される凶悪事件，振り込め詐欺や薬物犯罪，ネット犯罪，増加するストーカー事件，児童虐待，DV，また引きこもりや自殺者の多さ等々。治安の悪化，住みにくさを感じているのが一般的な感覚ではないでしょうか。物質的な豊かさ，金銭的な価値が優先され，地域社会や家庭内での人間関係が希薄化し，社会や家庭の教育機能の低下が犯罪発生の起因のひとつでもあります。

教育関係者，更生保護関係者双方の情報交流，相互理解等今以上に必要ではないでしょうか。

視察研修の報告は紙面の都合上極簡単に箇条書きにします。保護司 10 名，更生保護女性会 20 名参加。

月形刑務所～明治 14 年樺戸集治監創設，地域の開墾や道路開削。大正 8 年廃監。昭和 58 年月形刑務所開庁，国内 2 番の広大な敷地に 1,844 名の収容定員。26 歳以上，10 年以下の刑の再犯者収容。木工，印刷，洋裁，溶接，農業，炊事，洗濯，清掃，土木等規則正しい作業生活が基本。再犯者，高齢者増加傾向。

小樽地区保護司会～保護司 76 名（ほぼ 100% の充足率，都市部では稀，現役市職員もいる）。ほぼ一人一件の担当事案あり（郡部では数年に一件の担当）。市内 15 校の中学校に担当保護司。市委嘱の街頭補導員 350 名（保護司等）で毎日 3 回の巡視活動。サポートセンターを核に活発な諸活動の推進。



（月形刑務所）